

未来予測の技法

早稲田大学 教授 武藤 泰明



実学習時間

5h

難易度

★★

受講料

¥13,750

税込

学習目標と狙い

不確実性の高い環境においても、中長期戦略の構築に向け、未来の成り行きを推測する技法を習得する。

新入社員

若手社員

中堅社員

管理職

上級管理職

経営職



未来がどう変化していくのか、考えずに思考停止していた部分がありました。本講座で未来予測する手法があることを学びました。

学習プログラム

PDU

5

- 第1回 わかりやすい「GDPの基本」
- 第2回 予測のフレームワーク
- 第3回 情報源とネットワーク
- 第4回 常識を疑う/捨てる・集合知
- 第5回 SWOTによる未来予測・組織として予測能力を高める

【概要】

変化のスピードが速く、また変化そのものが不確実で複雑性が高い環境においても、ビジネスを推進していくためには、様々な経営判断、投資、経済分析などの局面で今後の「未来」を出来る限り正確に予測することが求められます。しかし、どんな筋道で予測を立てればよいかを教えてくれる指標や公式は、残念ながら存在しません。本講座では、経済に関するニュースや統計などの公開されている情報を読み解き、組み合わせ、未来の成り行きを推測するための考え方を提示します。分かり易いGDPの基本から、予測のフレームワーク、情報源とネットワークなどについて解説します。また、常識を疑うこと・捨てることや集合知の重要性、SWOTによる未来予測や組織として未来予測を高める技法などを解説し、今後の消費市場の動向、さまざまな予測の実例も含め、長期的な視座を養うポイントを紹介いたします。

受講期間

6ヶ月

講義

5回(平均60分)

理解度テスト

なし

演習

なし

チャメール

あり

修了証

あり

修了アンケート

なし

制作年

2016



10713